

平成30年度中小廃棄物処理施設における 廃棄物エネルギー回収方策等に係る説明会（東京地区）

2019-1-21

環境省
廃棄物資源循環学会

[趣旨] 廃棄物エネルギーの回収・利用を推進することは、温室効果ガスの排出削減につながり、地球温暖化防止の観点からも重要です。国内において廃棄物処理施設の約半数を占めている 100t/日未満の中小廃棄物処理施設では、発電等の廃棄物エネルギーの回収が十分に行われていないことから、環境省では、当該施設における廃棄物エネルギーの回収を促進するための取組を進めています。

この度、市町村の担当者等を対象にして、廃棄物エネルギーの回収について一層の促進を図るために説明会を開催します。本説明会では、環境省の取組や中小廃棄物処理施設における先進的な処理事例を紹介します。市町村等の担当者をはじめ廃棄物処理に関わる関係者の方々はぜひ御来場下さい。

[主催] 環境省、廃棄物資源循環学会

[日時] 2019年3月19日（火）、13:30～16:40（受付は13:10より開始）

[会場] TKP 新橋カンファレンスセンターホール1A（東京都港区西新橋1丁目15-1 大手町建物田村町ビル）

地図：<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-shimbashi/access/>

[交通] 都営三田線 内幸町駅 A3出口 徒歩1分・東京メトロ銀座線 新橋駅 8番出口 徒歩3分・

JR山手線 新橋駅 日比谷口 徒歩4分

[定員] 150名（事前申込み制）、自治体関係者を優先

[会費] 説明会：無料 説明会後に意見交換会を予定

[参加申込] 学会ホームページ (http://jsmcwm.or.jp/?page_id=14369) から申込みください

[プログラム]

- | | | |
|-------------|--|--------------------------------|
| 13:30～13:40 | 開会の挨拶 | 廃棄物資源循環学会理事 酒井伸一（京都大学） |
| 第1部 | 廃棄物分野におけるエネルギー回収の必要性と現状 | 座長 酒井伸一（京都大学） |
| 13:40～14:05 | 環境省における廃棄物エネルギー回収の考え方 | 名倉良雄（環境省環境再生・資源循環局廃棄物適正処理推進課長） |
| 14:05～14:30 | 廃棄物エネルギー回収マニュアルの紹介 | 伊藤恵治（（一財）日本環境衛生センター） |
| 第2部 | 先導的な廃棄物処理に係る事例報告（各事業者） | 座長 高岡昌輝（京都大学） |
| 14:30～14:40 | CO ₂ 分離膜を適用した次世代低炭素型高效率バイオガス発電システムおよびコンバインドシステム | 加藤考太郎（㈱タクマ） |
| 14:40～14:50 | 機械選別を用いたメタン発酵処理システムによる中小規模廃棄物処理施設での再資源化・エネルギー化方法の評価・検証 | 高橋倫広（㈱大原鉄工所） |
| 14:50～15:00 | メタンガス化+焼却コンバインドシステムの中小廃棄物処理施設への適用性向上 | 村木謙吾（㈱クボタ） |
| 15:00～15:10 | 炭化燃料化技術を活用した中小廃棄物処理施設におけるエネルギー回収評価事業 | 清水正也（㈱川崎重工業） |
| 15:10～15:20 | 流動床ガス化とメタン発酵のコンバインドプロセスの要素技術検証 | 細田博之（㈱神鋼環境ソリューション） |
| 15:20～15:3 | 休憩（10分） | |
| 第3部 | 廃棄物分野におけるエネルギー回収の必要性と将来の可能性 | 座長 酒井伸一（京都大学） |
| 15:30～15:40 | 趣旨説明 | 酒井伸一（京都大学） |
| 15:40～16:40 | パネルディスカッション | 講師、座長 |
| 16:40～16:50 | 閉会の挨拶名倉良雄（環境省） | |
| 17:00～19:00 | 意見交換会 | |

以上